

平成28年度 関東ママさん大会結果

【1回戦】

デレッターズママ 45 { $\begin{matrix} 10 \\ 14 \\ 13 \\ 8 \end{matrix}$ — $\begin{matrix} 9 \\ 2 \\ 12 \\ 11 \end{matrix}$ } 34 金曜クラブ(千葉県)

氏名	時間	得点	3P	2P	自由投	アシスト	リバウンド	スティール	ブロック	ターンオーバー	反則	総合P
菊池美佐紀	27	7	-	3/9	1/1	0	12	5	1	1	2	28
佐藤明美	24	4	0/4	2/3	-	1	5	6	0	2	1	19
岸 朋子	28	0	0/6	0/4	-	1	3	8	0	1	0	17
増田和代	23	5	1/8	1/10	-	1	5	5	0	3	1	18
保科 梓	7	2	0/3	1/3	-	2	1	1	0	1	2	10
小泉恵理	21	9	2/5	1/3	1/2	0	1	4	0	2	1	16
伊藤昌代	20	16	2/4	4/5	2/2	0	4	3	0	1	0	27
西山正美	3	0	0/2	-	-	0	0	0	0	0	0	5
山本 歩	0	0	-	-	-	0	0	0	0	0	0	3
宮島亜矢子	4	2	-	1/2	-	0	1	0	0	0	1	7
新里雪枝	3	0	-	0/2	-	0	1	0	0	0	2	4
奥積真紀子	0	0	-	-	-	0	0	0	0	0	0	3
合計		45	5/32	13/41	4/5	5	33	32	1	11	10	
シュート率			16%	32%	80%							

【戦 評】

今大会はこの初戦がヤマではないかと思われ、実際にそのとおりの展開になった。スタートはシノ、ミーコ、カズ、テン、カンの5人。相手センターに対抗できるセンターがシノー一枚というのが厳しい感じで、27分もプレータイムが伸びてしまった。しかし、数字にあるようにリバウンド12と、十分その役割を果たしてくれた。

スタートは例によってカンの3Pでいい感じだったがすぐに逆転され3-7。結果的に今大会唯一のリードを許す。しかし、1Qは10-9とリードして終わる。2Qから相手ガードのキープ力が無さそうなので前からプレッシャーをかけて、ダブルチームを仕掛けることにした。明らかにこのプレスを相手は嫌がっていて、2Qは2点に押さえることができた。さらに1Q後半から入ったケンが当たっていて、前半だけで16得点。これでどうにか前半は24-11とリードして終わることができた。しかし、安全圏に入れるはずが、とにかくこの試合はシュートが入らず、特に得点源のテンとカズが絶不調で、離すべきところで離せない。その分ディフェンスを頑張って二桁得点差を維持して、逃げ切ることができた。シュートがあれだけ入らなくても勝ち切るためのいい経験になったのではないかな。

【準決勝】

デレッターズママ	56	{	15	—	9	}	38	Biscuit2(埼玉県)
			10	—	8			
			20	—	9			
			11	—	12			

氏名	時間	得点	3P	2P	自由投	アシスト	リバウンド	スティール	ブロック	ターンオーバー	反則	総合P
菊池美佐紀	11	0	-	0/3	0/2	1	4	0	0	2	3	6
佐藤明美	20	0	0/2	0/1	-	2	12	2	0	0	0	23
岸朋子	25	12	1/5	4/7	1/1	2	2	4	0	1	0	26
増田和代	27	19	5/10	2/9	-	1	5	2	0	1	1	31
保科梓	6	3	0/1	0/2	3/4	0	1	0	0	0	1	8
小泉恵理	20	6	2/6	0/2	-	2	1	0	0	0	1	15
伊藤昌代	17	7	1/1	1/1	2/2	1	5	1	0	3	0	17
西山正美	5	0	0/1	0/1	-	0	0	2	0	2	2	3
渡邊知子	21	7	-	3/6	1/3	1	7	1	0	2	1	19
山本歩	5	2	0/1	1/4	-	0	2	0	0	0	1	8
宮島亜矢子	2	0	-	-	-	0	0	0	0	1	1	3
新里雪枝	3	0	-	-	0/2	0	0	3	0	0	0	8
奥積真紀子	1	0	-	-	-	0	0	0	0	0	0	5
合計		56	9/27	11/36	7/14	9	45	8	3	8	8	
シュート率			33%	31%	50%							

【戦評】

子供の運動会を終わらせてトモが着いたので、スタートはミーコ、カズ、テン、カン、トモ。1回戦とは違ってカズの3P・2Pの連続得点でスタート。1Qラスト2分にカンとケンの3Pが決まり15-9。一見順調に見えるが、ちょっと油断すると各日に相手はシュートを決めてくるので、安全圏まで離すことができない。1回戦に引き続きシュートが入らず、ディフェンスもプレスをかけるがあまり効かない。むしろ相手もプレスぎみのディフェンスで、それにうちの攻撃が対応できてない感じ。ゴール下でトモがいいところでシュートを決めてくれて、何とか前半25-17とリードしたまま終わられた。

後半はテンの2Pで始まり、前半2得点で2Qはシュートそのものを1本しか打っていなかったテンが、ようやく入りだして得点ペースがアップ。こうなると相手のシュートも止まるようになり、3Qは20-9で一気に45-26と20点リード。ようやく4Qにベンチメンバーにも楽しんでもらえる試合になった。結局テン19得点、カズ12得点と決めるところが決めてくると試合として安定してくるということか。どうにか決勝進出を決める。

【決勝戦】

デレッターズママ	66	{	24	-	7	}	44 KALEIDO SCOPE(神奈川県)
			14	-	15		
			11	-	8		
			17	-	14		

氏名	時間	得点	3P	2P	自由投	アシスト	リバウンド	スティール	ブロック	ターンオーバー	反則	総合P
菊池美佐紀	11	2	-	1/1	-	1	1	3	0	0	1	12
佐藤明美	17	5	1/1	1/2	-	1	3	3	0	2	0	16
岸朋子	25	11	1/3	4/7	-	4	1	2	0	2	2	23
増田和代	22	15	3/12	3/6	-	1	5	4	0	0	1	30
保科梓	11	4	0/2	1/2	2/2	0	1	1	0	1	2	8
小泉恵理	14	3	1/4	0/1	-	1	1	2	0	2	0	11
伊藤昌代	17	17	4/9	1/3	3/4	0	3	3	0	0	1	27
西山正美	12	0	0/2	-	-	3	1	1	0	0	0	13
渡邊知子	22	7	-	2/2	3/5	2	7	3	0	0	3	23
山本歩	6	2	0/1	1/2	0/1	0	3	0	0	1	2	7
宮島亜矢子	3	0	-	0/3	-	0	1	1	0	1	0	6
奥積真紀子	2	0	-	-	-	0	0	0	0	0	1	4
合計		66	10/34	14/29	8/12	13	27	23	0	9	13	
シュート率			29%	48%	67%							

【戦評】

決勝の相手は、前日の試合を見る限りではディフェンスはゾーンということで、しかもかなりゆるいゾーンのように感じた。そういうチームは普段からプレスぎみのマンツーマンは練習もしてないのではないかと思うのと、前2試合より力が劣る感じでもあるので、1回戦同様に前から当たって、ダブルチームを仕掛ける。これがやはりはまって一気に24-7。このままどんどん差をつけていけると思ったが、うちのシュートが落ち始めると、そのリバウンドを拾われ速攻をされてなかなか差が広がらなかった。とはいえ、適度な得点を重ねほぼ20点前後の差をキープして4Qに入る。準決勝よりさらにベンチメンバーが楽しむ時間ができ、楽しむどころか、皆頑張って得点差をさらに広げて優勝することができた。

楽しく全員が出場し優勝。しかも関東の大会ということで言うことなしの大会でした。

しかし、実は全国ではなく関東ということで、もう少し楽な大会かなと思っていたが、やはりAブロックのチームはそれなりの力があって、少々ビックリした。中でも、うちが対戦したのは千葉、埼玉、神奈川と、関東の中では強い県と当たったということで、意外と歯ごたえがあったのだと思う。あまり弱いチームと対戦しても面白くないので、それはそれでよかったと思う。チームとしては、全体に得点がコンスタントに取れなかったという印象が強いが、練習をあまりしてない中ではよくやった方なのか。...

来年は是非とも広島全国大会に出場できるように、まじめに練習してください。